

今日の一問 (やまだ塾)

(2008年5月6日掲載)

No.9	「初老期うつ病」,「仮面うつ病」とは何か。
解答	<p>・「初老期うつ病」は、退行期うつ病と呼ばれ、加齢や状況が大きく関与しているといわれ、一連の心的ショックが続いた後に発症することが多い。症状面では、制止よりも不安・焦燥が強く、病気が長引く場合も多い。初老期うつ病の発症する契機としては、地位・名誉・健康・能力などの低下・喪失、友人や家族の死などがあげられる。他のうつ病に比べて自殺率は高いとされている。</p> <p>・「仮面うつ病」は、うつ病でありながら、身体症状が全面に出てくるため、精神症状が仮面に覆われている疾患を「仮面うつ病」という。病像の前景にある身体症状は、睡眠障害、倦怠感、食欲不振、体重減少、便秘、性機能減退などで、身体的訴えは多岐にわたる。最近、サラリーマンに増加しており、自殺することがあるので注意を要する。</p>

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2008 Shunsaku Yamada. All rights reserved.